

第2回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成26年2月1日(土)午前9時30分～
開催場所	宇陀市役所本庁舎4階会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	
(2)市長あいさつ	・竹内市長あいさつ
(3)委員の紹介	・市民生児童委員連合会代表として、西村委員に代わり、竹内委員が選任、また公募委員からは安井委員が選任。
(4)議事案件	・子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査集計結果について(速報) 資料1 ・子ども・子育て支援事業計画の施策体系について 資料2 ・事務局より説明を行った。
質疑・意見	
会長	・ニーズ調査は完了しているのか。
事務局	・ニーズ調査は完了しています。
委員	・回答率を合計すると100%を超えるグラフもあるがなぜか。
事務局	・選択肢が複数回答のためです。
委員	・計画ができたときにアンケートをしてもよいのでは。
会長	・認定こども園等様々な制度の周知が必要で、広報等による情報発信が大切である。
委員	・しらゆり保育園が榛見が丘にあること自体を知らない方もいる。入園時の費用等、どのように情報提供すればよいか宇陀市全体で取り組むことが大切。
委員	・利用者や保護者の立場に立った情報提供の方法について検討頂きたい。
委員	これから出産される方への情報提供を十分にすべき、自分から調べることは難しい。
委員	・「今後利用したい教育・保育事業」について、地域別のニーズを見るのが大切に思う。菟田野地域には保育所がひとつ、幼稚園は大宇陀に通う必要がある。 ・子育て環境を整えるのであれば、菟田野地域に幼稚園が必要。認定子ども園は地域性を考慮して整備すべき。学童保育については、児童館など小学校の空き教室を使用している。
事務局	・学童保育について、夏休みなど午前7時30分～午後7時までの要望が多い状況です。 ・学校敷地内の場合は午後5時以降は利用できません。 ・利用料は幾分高くなるが費用対効果を考え、大宇陀・菟田野で検討中です。
委員	・児童館は6時30分までだが、安全についての不満の声はない。
事務局	・児童館から学童保育への移行は、運営会議で意見を頂き諮問、答申を踏まえて進めています。
委員	・保育園と幼稚園ではお母さんの意識が違う。仕事意欲はある、午前中だけの職場があれば
事務局	・新制度は、女性の社会進出につなげていくことと聞いています。 ・計画では一つの項目として扱っていくこととなります。 ・今回のアンケート調査は保育の潜在ニーズの把握をすることになっています。 ・働く意欲の受け皿として、産業振興も進めていく必要があります。
会長	・現在、待機児童はいるか。
事務局	・待機児童はおりませんが、潜在的待機者はいます。そこで、認定子ども園は、保育プラス教育、教育プラス保育のサービスを提供します。
委員	・名張市で子どもを産みました、市立病院は小児科、産科がない。市内で生まれる子どもがいなくなるのが問題、このことが人口減少に影響しているのではないかと思います。 ・室生地域は、面積が広く、集落が点在しており、不便ということもあり、名張市へ行くことが多い。せめて市内で子どもを産むことができるようにしてもらいたい。
会長	・子どもが病気になった時、小児科、産婦人科がないのは、子育ての視点から大きな問題である。 ・現在、院内保育の利用者はあるか。
事務局	・市立病院では、院内保育事業をしています。小児科は昨年10月より、F先生が来られています。 ・産婦人科の開設は難しい状況です。
会長	・かつて院内学級の経験がある。これだけの市であれば、ぜひ必要であり、これは課題である。 ・最後に、委員の皆さんに一言ずつ頂き、閉会とします。

委員	・まちづくり協議会でも子育て支援については関心があり活動していくべきであると思う。
委員	・若いエネルギーをくみ取りながら委員会を盛り上げていてもらいたい。
委員	・3～5歳の親だけでなく、2歳以下の親の意見も聞きたい。
委員	・いろいろな問題を抱える子どもがいる、幼児期に十分な愛情を受けていないことが問題となる。 ・親の愛情を十分に与えることが成長、発育に欠かせない。
委員	・学童保育について、アンケート結果を踏まえた対応をしていきたいと思った。
委員	・多くの市民を雇用できるよう企業活動を頑張りたいと思う。
委員	・菟田野に越してきたとき、満足度は高かった。人材などの資源を活かした宇陀市の子育て支援が必要。
委員	・宇陀市に越してきて母子手帳をもらって喜んだが、宇陀市で産めないことがショックだった。
委員	・室生で生まれ、室生で育ち、室生から出たことは無い。これは私の強み。
委員	・いろんな課題があることがわかった。病気や出産時など情報が必要。
委員	・県外から越してきて10年、知り合いがいなかったので、子どもを通じママ友達ができた。 ・0歳～小学校までの子育てを考えたい。
委員	・幼稚園から保育所、または保育所から幼稚園に変更する場合、子どもの負担も考え、早く子ども園にした方が良いのでは。
委員	・フルタイム就労の方の多さに驚いた。
委員	・子育て支援センターの利用料の問合せが多いが、自由に利用するのは無料。 ・里帰りの方の利用もできるので、ぜひ利用してください。
委員	・保育士不足が問題。施設の職員も高齢化している。 ・夏期、冬期の利用希望が思っていたより多いと思った。
委員	・幼児教育に長く携わってきた。預かり保育については、保育所、幼稚園それぞれ良いところがある。 それを見極めて取り組んでいく必要がある。
会長	・貴重な意見を計画に反映していただきたいと思います。
事務局	・次回の会議は3月1日土曜日開催の予定です。 ・場所は農林会館、議事は自由意見、計画の骨子案等の予定です。
(5)閉会	